

岐阜経済大学地域経済研究所主催の公開研究会「地域と防災」において木曾三川の治水対策に関する講演を実施し、地域住民への水害への啓発活動を行い、地域住民を中心に約50名が参加しました。

日時：平成28年12月16日（金）16:00～18:10
場所：岐阜経済大学 4号館1階4101教室



岐阜経済大学
経済学部
森教授



国土交通省
木曾川上流河川事務所
戸谷副所長



岐阜県
大垣土木事務所
松本係長



大垣市
上石津地域事務所
豊田所長

プログラム

- 「はじめに：濃尾平野の成り立ちと人の生活」
岐阜経済大学地域経済研究所長 経済学部教授 森 誠一
- 「木曾三川の治水対策について」
国土交通省 木曾川上流河川事務所 戸谷 三知郎
- 「岐阜県が進める治水事業（西濃地域の治水対策）」
大垣土木事務所河川砂防課 係長 松本 省吾
- 「治水対策と土地利用～大垣市の場合～」
大垣市上石津地域事務所長 豊田 富士人

木曾川上流河川事務所のほか、岐阜県および大垣市から各機関の取組について講演を行い、各機関の取り組むハード・ソフト対策を学んでいただくとともに、災害時の避難行動の重要性について理解を深めていただきました。

住民からは徳山ダムの整備効果により治水安全度が向上した事への感謝の声をいただいたほか、河川敷の樹木伐採への要望などのご意見をいただきました。

